

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度 第 4 回入間市総合教育会議
開 催 日 時	平成 2 8 年 3 月 2 3 日 (水) 午後 1 時 1 5 分 開会、午後 3 時 3 5 分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5 階 : 第 4 委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	田中龍夫、西澤泰男、河村佳樹、青山友子、橋本清美、高山茂
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	企画部長 田中利之、企画部参事 鳥山政之、企画課主幹 浅見泰志 教育総務部参事兼学校教育課長 早川等
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1 . 開 会 2 . 挨 拶 3 . 報告事項 (1) 入間市総合計画・前期基本計画(素案)について (2) 入間市行政改革大綱(原案)について (3) 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(原案)について (4) 入間市公共施設等総合管理計画(原案)について (5) 平成 28 年度教育関係予算のポイントについて 4 . 協議・調整事項 (1) 今後の教育行政における課題について いじめや非行の状況と対応について 学力向上の取り組みについて 今後の子ども施策の方向性について(時間の関係で中止) 学校施設の整備、利活用の推進に向けて(時間の関係で中止) (2) その他 今後の会議活用に向けて(時間の関係で中止) 5 . その他 6 . 閉 会
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市総合計画 前期基本計画（素案）＜概要版＞ ・入間市行政改革大綱（原案） ・入間市人口ビジョン（原案）ダイジェスト版 ・入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）ダイジェスト版 ・入間市公共施設最適化基本方針（概要版） ・平成28年度施政方針 ・いじめ問題関係資料
関係者職氏名	<p>教育総務部長 岩田武利、教育総務部参事兼教育総務課長 宮岡隆、 教育総務部参事兼学校教育課長 早川等、教育総務課主幹 鹿山泰隆 生涯学習部長 福田光嘉、生涯学習部次長 新見輝明</p>
事務局職員職氏名	<p>企画部長 田中利之、企画部次長 長谷川芳明、企画部参事 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志、企画課主幹 宮澤昌樹、企画課主事 齊藤正文</p>
会議録作成方法	<p>要点筆記</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

< 報 告 事 項 >

- 1 入間市総合計画・前期基本計画（素案）について
- 2 入間市行政改革大綱（原案）について
- 3 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）について
- 4 入間市公共施設等総合管理計画（原案）について
- 5 平成 28 年度教育関係予算のポイントについて

< 協 議 ・ 調 整 事 項 >

今後の教育行政における課題について

- 1 いじめや非行の状況と対応について

いじめ問題が発生した場合、基本的には、必要に応じて「いじめ対策委員会」等を開催するなどして対応する。また、重大事態が発生した場合には「いじめ問題調査審議会」において調査する場合もある。ただし、重大事態に発展する前に、いじめが発覚した時点で即座に対応することが重要である。

- 2 学力向上の取り組みについて

入間市では、小中一貫教育を推進し、様々な取り組みをしている。また、教師のスキル向上や生徒が自ら進んで勉強するような環境づくりに努めていく。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 . 報告事項</p>
田中部長	<p>(1) 人間市総合計画・前期基本計画 (素案) について</p> <p>説明をした後、質疑を受けたいと思います。よろしくお願いします。</p>
浅見主幹	<p>(4 つの重要計画の関係性について説明)</p> <p>(「人間市総合計画 前期基本計画 (素案) < 概要版 > 」について説明)</p>
田中部長	<p>これから質疑を受けたいと思います。説明のあった総合計画 前期基本計画の第 2 章が、教育振興基本計画と直接関わりがあるため、整合に向けて理解を得たいということです。何かございましたらお願いします。</p>
高山委員	<p>第 2 章の「学びあいのまちづくり」に焦点を当てて説明されていますが、教育の大きな目的は人格の完成であって、第 1 章から第 7 章のすべての部分に関係があります。そのことも念頭において進めてもらわなければなりません。</p> <p>もう一点、「香り豊かな緑の文化都市」を強調していますが、文化とは何か、以前から考えています。人によってとらえ方が違うと思いますが、文化水準が高いかどうかのパロメータの 1 つに、ごみが落ちているかいないかなど、環境の状況もあると思います。色々なところにごみが散らかっており、いくら注意しても直らないのでは、果たして文化的な町でしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、道徳・倫理感・人権感覚・人権意識といったものが文化に結びついていると思います。第1章の「つながりを大切にしまちづくり」で、人権・コミュニティ・交流をうたい、第1に人権の尊重に取り組むという事は非常に大切な事です。住みやすさが実感できるまちづくりをするには、人権感覚・人権意識を重点に置いた方がいいのではないかと思います。</p> <p>住みやすさについては、7つの章のうち、福祉と教育が中核をなすと思っています。住みやすさが実感できることを大々的に取り上げていくことが人口減少対策になると思います。</p>
田中部長	<p>ただいまの発言は感想ということで承ります。</p> <p>他にございますか。</p>
田中市長	<p>先ほど教育長は、人間市の教育を一言で言うと何とおっしゃいましたか。</p>
西澤教育長	<p>「教育を大切にすまち人間」です。第2節「学校教育の充実」の中にも入れていただいています。</p>
田中市長	<p>「元気な子供が育つまち」「教育を大切にすまち人間」「みんなでつくる住みやすさが実感できるまち人間」など、キャッチコピーがたくさん出てきましたが、整理しなければ市民が迷ってしまいます。</p>
田中部長	<p>そこは、もう1度整理させていただきます。</p> <p>次に、行政改革大綱について説明願います。</p>
鳥山参事	<p>(「人間市行政改革大綱(原案)」について説明)</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>行政改革大綱の話をしていただきましたが、今までの経費の削減に加えて、仕事の仕方を変える、施設の運営を変えるといった内容も含まれてきますのでご理解ください。</p> <p>次に、まち・ひと・しごと創生総合戦略についてお願いします。</p>
鳥山参事	<p>(「入間市人口ビジョン(原案)ダイジェスト版」について説明)</p> <p>(「まち・ひと・しごと創生総合戦略(原案)ダイジェスト版」について説明)</p>
田中部長	<p>続いて、入間市公共施設等総合管理計画についてお願いします。</p>
浅見主幹	<p>(入間市公共施設等総合管理計画について「入間市公共施設最適化基本方針[概要版]」を基に説明)</p>
田中部長	<p>これまでに、4つの計画の説明をしていただきました。もう一度整理するために、「入間市総合計画 前期基本計画(素案)〈概要版〉」の5ページからの「施策体系」をご覧ください。6ページに「計画の実現に向けて」とありますが、この部分が行政改革にあたります。さらに、この中の第2節「公共施設の最適化」が公共施設等総合管理計画にあたります。それを、それぞれ具体化したものが、この3つの計画であります。</p> <p>もう一つの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は国が進めており、人口ビジョンを見直し、今後5年間の人口減少対策をたてるというものです。</p> <p>4つの計画は以上のような関係になっております。</p> <p>何かわからない所があればお受けします。</p>
青山委員	<p>「職員の意識改革」という言葉が何回か出てきます。あたりまえのことなのですが、実はそれが一番難しいのではないかと私は思います。意識改</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山参事	<p>革は具体的にどのように進めていくのでしょうか。</p> <p>行政改革大綱は、基本的な考え方だけを示しております。これとは別に「人材育成基本計画」というものがあり、その内容が概ね反映されるだろうと考えています。</p> <p>行政改革は大綱案を基に、個別の計画を具体的に配置していきますので、その中で改めて明らかにさせていきたいと思っております。</p>
田中市長	<p>意識改革は大変ですが最も重要なことだと思います。例えば、職員を1割削減するのが目的なのではなく、モチベーションを高め、いかに効率的に仕事をするか、ということが目的です。子供についても、教育委員会の子供でも、市長部局の子供でもなく、みんなの子供だという意識を持つべきです。このように、色々な部分で意識改革することが大事です。意識改革をするという全員の共通認識がなければなりませんし、意識を変えていくための工夫が大事だと思います。</p>
田中部長	<p>では、「平成28年度教育関係予算のポイント」について説明をお願いします。</p>
鳥山参事	<p>(平成28年度教育関係予算のポイントについて「平成28年度施策方針」を基に説明)</p>
田中部長	<p>補足ですが、3ページをご覧ください。一般会計予算の総額が403億6700万円ですが、その内訳として「市債」が約30億円あり、これは借金です。また、「その他」の47億6139万円には、市の貯金にあたる財政調整基金33億円のうちの11億円が含まれます。このようにやりくりをしながら予算編成したという状況です。そんな中で、教育の費用に</p>

発 言 者	発 言 内 容
早川参事	<p>については先ほど説明があったとおりです。</p> <p>次に協議調整事項ですが、時間の関係で次第にある4項目のうち、「いじめや非行の状況と対応について」と「学力向上の取組みについて」の2項目のみとさせていただきます。</p> <p>いじめや非行の状況と対応について、早川参事から説明をお願いします。</p> <p>(いじめ問題に対する学校での対応、重大事態が発生した場合の対応について、いじめ問題関係資料を基に説明)</p>
田中部長	<p>ただいまの説明について、確認したいこと、質疑等がありましたらお願いします。</p>
青山委員	<p>迅速性が求められると思いますが、人間市教育委員会がいじめ問題調査審議会に諮問してから調査までの期間はどれくらいを想定していますか。</p>
早川参事	<p>事案、状況により変わってきますが、事態が発生したらすぐに一報を入れるなどして、いつでも集まれるような体制を作っておくなど、迅速な対応をしたいと思っています。</p>
田中市長	<p>虐待についてはどうなっていますか。</p>
早川参事	<p>児童相談所に通告することになっています。</p>
田中市長	<p>人間市の小中学校のいじめの実態はどのような状況ですか。</p>
早川参事	<p>ゼロとは言い切れませんが、何か問題があったときに早期発見、早期解</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>決することが我々の重大な役目であり、解消率を上げることが重要です。</p> <p>平成26年度の調査において、入間市では解消率100%です。</p> <p>解消率は100%ということですが、発生件数はどのくらいですか。</p>
早川参事	<p>小・中別で、20～30件です。内容としては、冷やかし、からかいなどもありますが、最近はインターネットでのトラブルもあります。</p> <p>各校の組織の中で解決を図り、最終的に解消するまで指導できているということです。また、他市にはあまり無いことですが、解消後も卒業まで、每学期追跡調査をしております。</p>
田中市長	<p>子供はいじめている意識が無くいじめてしまっている場合があります。</p> <p>それに気づくというのはなかなか難しいと思います。</p>
青山委員	<p>悪ふざけからいじめに変わることについては、先生がアンテナを高くして見極めるということが重要です。</p>
高山委員	<p>先生が1人ではなく先生同士の意見交換をしながら対応できるような雰囲気作りも大切です。また、生徒が先生に相談しやすいように、普段から生徒と先生の関係作りは欠かせないと思います。</p>
西澤教育長	<p>いじめは、先生が見ているところで行われることはほとんどありません。見えないところで行われてきたいじめが、何かのきっかけで分かった時点で、すぐに重大事態だと思って対応するということが最も重要です。</p> <p>そのために、学期に1回の調査や、面談等を行っています。その時に本人がいじめの事実を言わなくても、他の子から聞きだせる場合もあります。このように、分かった時点でいかに動けるか、ということが最も重要</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>だと思えます。</p> <p>例えば、アンケートで「好きな教科は何ですか」という問題を作り、それに対して「何も無い」という回答であったらいじめを疑うというような仕掛けも必要かと思えます。</p>
河村委員	<p>市教育委員会で、年に2回地域交流研修会を行っています。地域の方々は、学校の先生や保護者とは全く違った視点で実態を把握しており、かなり情報をもっています。そのような組織もないがしろにしないようお願いします。</p>
西澤教育長	<p>中学では、毎週、生徒指導部会が行われ、その時に学年やクラスの状況などを収集し、学期に1回生徒指導委員会を行い、重要なことについて対応する、というようなしくみがあります。しかし、小学校の場合はなかなか毎週1回の時間はとれません。よって、月1回集まり、色々なことを一挙に取り上げるような体制になっているので、即座に把握するということは難しいことがあります。また、実はいじめの事実を知っていたが、からかい程度だと思って他の先生に言わずに対応したために、解決できていなかった、などということもあります。このようなことについては、もっと考えていかなければならないと思えます。</p> <p>また、いじめが発覚したのは小学校高学年になってからだけれども、実は幼稚園、保育園時代からそのような関係ができてしまっていた、親同士の仲が悪かったためにいじめに発展したなど、様々なパターンがあるので、かなり色々なことを調べてなければならぬ場合もあります。</p> <p>その点で、地域は小さい頃から子供たちを見ているので、とても重要な情報を持っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>情報を持っている人も、なかなか言いづらい場合もありますので、普段から、生徒同士も先生もオープンな関係を築くような意識改革が必要です。</p>
田中部長	<p>いじめ問題については今後も引き続き注視しなければなりません、重大事態にならないよう協力していくということをお願いします。</p> <p>では最後に、学力向上の取り組みについてです。これは、これまでの総合教育会議の中でも話し合いがされてきましたが総合計画の中でも学力について触れておりますので、改めて皆様の考えがあれば伺い、それらをもとに意見交換をお願いします。</p>
田中市長	<p>学力向上のために、「入間市ではこれだけはやっている」というようなことはあるのですか。例えば、狭山ヶ丘高校では、授業の前に必ず1分間黙想し、これから何を学ぶのか考えるということをしています。富士見市でも、10年後の自分について考えるということをしています。そのように、入間市でも、教育委員会が主導で行っていることはありますか。</p>
西澤教育長	<p>色々取り組んでおり、その1つとして入間市では、1時間の指導の流れのパターンを提示し、それについて評価した上で雛形を作り、それを1年間続けます。その中で、最初に今日の授業の狙いを示し、最後に学んだことを子供たちの言葉で振り返る時間をとろうという取り組みをしています。</p> <p>また、小中一貫教育の最終成果の一つが学力向上であるということで進めています。例えば、中学校の先生が小学校の授業を参観する、あるいは小学校の先生が中学校の授業を参観することで学んだことを持ち帰り、それを活かしていく、ある小学校の試みを、同じ中学校区内の他の小学校や中学校でも取り入れる、中学校の定期試験の時期を小学校も家庭学習強化</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>週間にするなど、小中一貫教育としての様々な取組みがあります。</p> <p>あえて1つにするのではなく、中学校区単位でそれぞれの地域に合った学び方や学力向上の手立てを追求しているところです。</p> <p>先生方が教室で行っていることを、学校あるいは中学校区の1つの形にしていこうというボトムアップの形で進めています。</p> <p>私が武蔵中の時、先生が「今武蔵中の成績が良い」と言い続けていた事で、自信が持てました。そのように、何か皆が自信を持ったり自慢できるようなものがあると良いですね。</p>
高山委員	<p>繰り返し申し上げますが、突き詰めていくと、結局、先生方の指導力の向上しかありません。子供たちが自分から勉強しようと思えるように、指導力を上げていくことが何より大切だと思います。そのためには、技術を磨くための機会を教育委員会が補償することが必要だと思います。</p> <p>また、学習においても「切磋琢磨」が必要で、ライバル意識を持つ、友達の良いところは見習うといったことも伸ばしていかなければならないと思います。</p>
青山委員	<p>家庭学習の定着も重要です。</p>
田中市長	<p>塾に学習を任せるといったようなことはありますか。</p>
高山委員	<p>任せてはませんが、結果的にそうなってしまっています。親が、勉強の中身を学校にあまり期待しておらず、勉強は塾に任せるといったケースもあります。</p>
西澤教育長	<p>しかし、全員が塾に行っているというわけではありません。世の中、点</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>数にこだわる側面がありますが、満点を取ったからといって世の中に役立つ人間になるとは限りません。点数も必要ではありますが、点数ばかりにこだわって人間市の将来を担う子供たちが育つかといえば、なんとも言えません。本来は子供たち自身にやる気を出させ、その結果が点数に結びつくというのが一番良いのではないかと思います。そういった意味でも、小中一貫の教育を進めていくことが最終的に学力向上につながると考えています。</p> <p>子供が自ら「勉強しよう」と思うことも重要ですし、先生も自ら「育てよう」とすることも重要だと思います。</p>
西澤教育長	<p>現在の教育現場では、発達障害の生徒がいたり、家庭環境に問題を抱えた生徒がいたり、色々な状況の生徒を相手に教育をしているので、教師が頑張っても全ての生徒に通じないときもあります。そういったところを先輩の先生などがサポートし、自信を持たせてあげなければなりません。</p>
田中部長	<p>協議調整事項を4つ用意しましたが、これで2つ取り上げさせていただきました。残りの2つは来年度に行わせていただきたいと思います。</p> <p>来年度もこの総合教育会議は継続していきますが、皆様からもどのような話題を取り上げたり協議したりしたら良いのかということもお聞きしながら進めていきたいと思っています。</p> <p>次回は4月下旬を予定しています。内容は、平成29年に予定している組織見直しで、教育委員会にも変更があるので、調整させていただきたいというものであります。</p> <p>今年度は、4回の総合教育会議を開催することができました。ご協力ありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>以上で、第4回総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成28年 5月16日</p> <p>市長の署名 <u>田中 龍夫</u></p> <p>教育長の署名 <u>西澤 泰男</u></p>	